指定校（高大連携協定校）推薦入試要項〔選考方法・合否判定方法・合理的配慮の提供に関する対応方法〕

選考方法

試験科目・試験時間・合否判定

文学部・心理学部・経済学部・経営学部・法学部・政策学部・国際学部・社会学部・農学部	試験時間	8：50～9：10	9：10～10：10	10：30～
	試験科目	説明・書類記入	小論文	面接
先端理工学部	試験時間	13：10～13：30	13：30～14：30	14：50～
	試験科目	説明・書類記入	数学	面接 ※

※入試前学習課題とそれを解答したノートを持参すること。
試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

試験科目について

文学部	小論文	受験生の論理的思考力や文章表現力等を評価し、文学部で学ぶにあたっての適性を判定します。
	面接	文学部が定める入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）への深い理解を前提として、志望する学科・専攻に対する明確な動機と学修意欲などを中心に面接します。
心理学部	小論文	受験生の論理的思考力や文章表現力等を評価し、心理学部で学ぶにあたっての適性を判定します。
	面接	心理学部が定める入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）への深い理解を前提として、明確な志望動機と学修意欲などを中心に面接します。
経済学部	小論文	受験生の論理的思考力や文章表現力等を評価し、経済学部での学修にあたっての適性を判定します。
	面接	経済学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）について事前に理解しておくことを前提に、出願書類を基に志望動機・大学での学修の抱負などを中心に面接します。
経営学部	小論文	経営学部で学ぶにあたり、受験生の思考力や文章表現力を評価し、適性を判定します。
	面接	経営学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）について事前に理解しておくことを前提に、出願書類を基にして、志望動機・高校生活の取り組み・大学生活の抱負などをふまえて適性を判定します。
法学部	小論文	受験生の論理的思考力や文章表現力等を評価し、法学部で学ぶにあたっての適性を判定します。
	面接	法学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）について事前に理解しておくことを前提に、法学部での学びの目標やどのような学生生活を送ろうとしているのか等を中心に面接します。
政策学部	小論文	受験生の文章表現力や論理性などを評価し、政策学部で学ぶにあたっての適性を判定します。
	面接	政策学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）について事前に理解しておくことを前提に、政策学部での学びの目標やどのような学生生活を送ろうとしているのか等を中心に面接します。
国際学部	小論文	受験生の思考力、文章構成力などを評価し、国際学部で学ぶにあたっての適性や素質を判定します（グローバルスタディーズ学科では英語での小論文となります）。
	面接	国際学部での勉学を強く希望し入学を志す理由、学業に情熱を注ぎ続けられる意欲と勤勉さの持ち主であるか、国際的コミュニケーションに重要な異文化を理解する素養を有しているか等を中心に面接します（グローバルスタディーズ学科では日本語と英語を併用して面接を行います）。
社会学部	小論文	受験生の論理的思考力や文章表現力等を評価し、社会学部で学ぶにあたっての適性・素質を判定します。
	面接	個人面接です。この試験では、社会学部での勉学を強く希望し入学を志すのかについての適性・素質を判定します。入学後も学業に情熱を注ぎ続けることのできる強い意志を有しているかについても判定します。
先端理工学部	数学	記述式です。最終的な答えだけでなく、回答に至るまでの論理展開や途中計算の正しさを重視し、先端理工学部で学ぶにあたっての基礎的な学力を判定します。
	面接	入試前学習課題のノートの完成度をチェックするとともに、先端理工学部への志望動機や勉学意欲などを対話によって確認し、コミュニケーション力などについて評価します。
農学部	小論文	受験生の論理的思考力や文章表現力等を評価し、農学部で学ぶにあたっての適性を判定します。
	面接	農学部が定める入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）への深い理解を前提として、志望する学科に対する明確な動機と学修意欲などを中心に評価します。

〈合否判定〉
高等学校長の推薦を尊重し、出願書類、試験科目を総合して、合否を判定します。１科目でも欠席した場合は、その試験日を欠席扱いとし、結果は通知しません。

合理的配慮の提供に関する対応方法

龍谷大学入学試験では、障がい等のある受験生のために受験上の配慮を行います。受験上の配慮を希望する受験生は、出願等の手続をする前に本学へ必ずご連絡ください。